

2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 3 日作成)

| | | | |
|------------------------------|---|---|-------------------------------|
| 小委員会名 | 強震観測小委員会 | | 主 査 名：大野 晋 就任年月：2021 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 構造委員会 (振動運営委員会) | | 委員長名：五十田博 主 査 名：菊地 優 |
| 設 置 期 間 | 2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月 | | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>強震観測とその利用に関する研究と技術開発を推進し、そのための環境整備を通して、建築物・都市の地震災害軽減に資することを目的とする。</p> <p>初年度：各地域の強震観測に関する情報交換・被害地震の強震観測情報の調査 2 年度：観測体制・データ収集・利用方法等に関する現状分析、大会 PD 開催 3 年度：強震観測データの分析による建物・地盤の地震応答の解明 4 年度：強震観測成果をより有効に活用する方法の具体化、シンポジウム開催</p> | | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：無 | | |
| | <p>主査：大野 晋 (東北大学) 幹事：神原 浩 (清水建設)・高井伸雄 (北海道大学) 委員：赤澤隆士 (地域地盤環境研究所)・小笠原さおり (小堀鐸二研究所)・ 鹿嶋俊英 (建築研究所)・功刀 卓 (防災科学技術研究所)・重藤迪子 (九州大学)・ 徳光亮一 (大成建設)・飛田 潤 (名古屋大学)・中村 充 (大林組)・ 三浦弘之 (広島大学)・吉田治雄 (竹中工務店)</p> | | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | 強震観測成果展開WG：これまでの活動成果をもとに構築・整備を進めている「強震観測アーカイブ」に関する普及・利用促進のための成果公表の検討を主に行う。 | | |
| 2021 年度予算 | 120,000 円 | ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://wiki.arch.ues.tmu.ac.jp/smo_aij/ | |

| 項 目 | 自己評価 |
|---|---|
| 委員会開催数 | 4 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画 | |
| 大会研究集会 | 1. PD：地震災害のレジリエンスを支える強震観測と建物モニタリング (建物健全性モニタリング小委員会と共同) 参加者数 258 名 『構造部門 (振動) パネルディスカッション資料：同上』 |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | <p>1. 各地域や機関の観測事例、最新の観測機器とシステム、データ活用の動向、強震観測の普及展開・利用促進における課題に関する検討を行い、当該分野の連絡会としての機能を果たした。</p> <p>2. 普及資料「強震観測の手引」と基礎資料「強震観測建物台帳」の拡充を行うとともに、それらをまとめた強震観測アーカイブの活用について検討した。</p> <p>3. 活動成果を大会 PD で発表し、普及展開に努めた。</p> |
| 委員会活動の問題点・課題 | <p>1. 強震観測の普及とデータ活用に向けた継続的な取り組み</p> <p>2. 関連する他の小委員会、関連学協会等との情報交換、連携</p> |